



府民と共に
「京都夢実現プラン」

京都府総合計画



1. 将来構想

概ね20年後の令和22(2040)年を展望し、実現したい将来像を示したもの。

2. 基本計画

府民の皆さまや地域・企業等と連携し、横断的に取り組む「府民協働で取り組むきょうとチャレンジ」、地域に着目した「エリア構想」、全体を分野別に体系化した「分野別基本施策」等について、概ね4年間の取組を示したもの。

3. 地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の各地域の資源や特性を生かした地域振興策を示したもの。

～一人ひとりの夢や希望が全ての地域

京都府総合計画は、「将来構想」と「基本計画」、「地域振興計画」によって構成しており、府民の皆さまと手を携え総力を結集し、経済の量的拡大だけを追い求めるのではなく、「豊かさ」の価値を再創造し、高い理想と夢を掲げた「京都モデル」で日本、世界をリードする、そして、府内全ての地域が、活力にあふれ誇りの持てる、新しい時代の京都を、築き上げたいと考えています。



京都府知事 西脇 隆俊

20年後に実現したい将来像

1.人とコミュニティを大切に共生の京都府

子育てに優しい社会は、全ての世代にとっても暮らしやすい社会です。一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、男性も女性も、子どもも高齢者も障害者も、外国人も、全ての人々が地域で「守られている」「包み込まれている」と感じ、誰もが持つ能力を発揮し、参画することのできる社会づくりをめざします。



2.文化の力で新たな価値を創造する京都府

地域の文化を継承・発展させ、京都府に住む人、学び働く人、訪れる人など全ての人を惹きつけ、さらには、文化が、観光、食、伝統産業から先端産業まであらゆる分野と融合し、京都流の新たな価値を創造し、発信し続ける社会づくりをめざします。



3.豊かな産業を守り創造する京都府

大学や多様な企業、研究機関の集積を生かし、高度人材の確保、あらゆる産業分野の融合、ビッグデータの活用、さらには、AI・IoT分野の新たな技術開発やその活用で、イノベーションを起こし、キラリと光り輝く企業が府内のあらゆる地域に立地している社会づくりをめざします。



4.環境にやさしく安心・安全な京都府

頻発する自然災害の要因ともいわれる気候変動に適応し、「脱炭素」で環境にやさしい社会を実現するとともに、ハード・ソフトの両面から、災害だけでなく、犯罪等からの安心・安全、そして全ての地域が地域資源を生かした豊かさを実感できる地域づくりをめざします。



で実現できる京都府をめざして～

基本計画



(1) 府民協働で取り組むきょうとチャレンジ

- ① 子育て環境日本一
- ② 府民躍動
- ③ 文化創造
- ④ 新産業創造・成長
- ⑤ 災害・犯罪等からの安心・安全

(2) エリア構想

- ① 北部グローバル構想
- ② 京都スタジアムを中核とするスポーツ&ウェルネス構想
- ③ 北山「文化と憩い」の交流構想
- ④ 新名神を活かす「高次人流・物流」構想
- ⑤ スマートけいはんな広域連携構想

(3) 分野別基本施策

- | | | | | |
|---|---|--|---|---|
| ① 希望あふれる
子育て
 | ② 夢を実現する
教育
 | ③ 安心できる
健康・医療と
人生100年
時代
 | ④ 安心できる
介護・福祉の
実現
 | ⑤ 人権が
尊重される
社会
 |
| ⑥ 男性も女性も
誰もが活躍
できる社会
 | ⑦ 障害者が
暮らしやすい
社会
 | ⑧ 留学生・外国人が
生き生きと
暮らせる社会
 | ⑨ コミュニティ
が大切に
される社会
 | ⑩ 誰もが親しみ
夢が広がる
スポーツ
 |
| ⑪ 文化力による
未来づくり
 | ⑫ 産業の
創出・成長・
発展と継承
 | ⑬ 魅力ある観光
 | ⑭ 雇用の
安定・確保と
人材育成
 | ⑮ 農林水産業の
成長産業化
 |
| ⑯ しなやかで
災害に強い
地域
 | ⑰ 犯罪や
事故のない
暮らし
 | ⑱ 脱炭素
社会への
チャレンジ
 | ⑲ 成長・交流・
情報・暮らし
の基盤づくり
 | ⑳ もうひとつの
京都の推進と
地域連携
 |

← 各チャレンジはコチラ

府民協働で取り組むきょうとチャレンジ

「将来構想」で掲げた将来像の実現に向けて、5つのテーマの方策に加え、府民、地域、企業等とともに取組を進

「子育て環境日本一」 きょうとチャレンジ



2040年に全国平均並みの合計特殊出生率をめざし、行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し、「子育て」の視点から社会を変革します。

★こんな取組を進めていきます

- 地域子育て充実度見える化システム
子育て環境の充実度を数値により見える化する指標を構築
- 子育て環境日本一に向けた「職場づくり行動」運動
時間単位の年休取得等柔軟な制度導入と、男女が共に働きやすい職場環境づくり
- 企業の意識改革「ワークチェンジ塾」
経営者・男性社員などを対象にした意識改革の研修会を開催
- 地域の働く場創出・育成プロジェクト
創業を目指す若者の集まる環境整備や、地場産業の成長を支援
- ホップ・ステップ・ジャンプ型就業プロジェクト
子育て期からの仕事復帰のビジネスモデル創設を支援

★皆さまとともに進めていきます

- まちなかで子育て世代を「邪魔・迷惑扱い」しない「やさしい社会」づくり
- 子育てに自然と手を差し伸べる雰囲気づくり
- 男性も女性も育休が取りやすい雰囲気と環境づくり
- 経営者・社員の意識改革

「府民躍動」 きょうとチャレンジ

人生100年時代を見据え、府民の誰もが生きがいを感じることでできる共生社会づくりを進めます。

★こんな取組を進めていきます

- 生涯現役クリエイティブセンター(仮称)
高齢者が年齢に関係なく様々な分野で活躍できるように相談・マッチングなどをトータルコーディネート
- スポーツのメッカづくりプロジェクト
府立京都スタジアムが夢とあこがれの舞台となるよう、国際試合の誘致など、スポーツのメッカとなる取組を推進
- 女性活躍応援塾(仮称)
地域で活躍する団体・個人の発掘・育成を行うほか、地域で活躍する女性を総合的に支援
- 京都式農福連携・6次産業化プロジェクト
農福連携製品の6次産業化やブランド化を支援
- 産学公連携海外人材活躍ネットワーク
人材確保から地域の多文化共生までオール京都でサポート

★皆さまとともに進めていきます

- 自らの能力を発揮できるキャリアデザインを描く
- 希望に応じた生き方・働き方を通じた、地域での活躍の場の発見
- 企業での実践型実習や、農業分野での就労へのチャレンジ
- 外国人も日本人も、共に互いの文化を理解し尊重し合える地域社会づくり



「文化創造」 きょうとチャレンジ



地域文化を大切にするとともに新しい文化が生まれ続け、地域に活力を生み出す社会づくりを、文化庁が本格移転する京都から進めます。

★こんな取組を進めていきます

- 京都国際アートフェア
一流アーティストの作品や京都と世界のクラフトを一堂に鑑賞、販売できる機会を提供
- 北山エリア「シアターコンプレックス」
劇場等が集積したシアターコンプレックスの整備
- 文化財保存・活用促進プロジェクト
文化財に親しむ機会を増やすことで文化財の「保存」と「活用」の好循環の創出や、VR・AR等の文化財への活用を推進
- 障害者アート創造・発信プロジェクト
障害者アート作品の販売、商品化を推進

★皆さまとともに進めていきます

- 地域に受け継がれてきた祭りや伝統芸能の保全と、次世代への継承
- 文化芸術の裾野拡大に向けた多様な体験の機会提供
- 和食や文化芸術に携わる人材の育成とバックアップ

テーマを選定し、府民協働で積極的に“チャレンジ”する方策を示したものです。
進めたい事項を併せて記載し、多様な主体と相互に連携・協力しながら目標の達成をめざします。

「新産業創造・成長」 きょうとチャレンジ

企業のスタートアップから成長、継承まで、イノベーションが起これ続ける最適な事業環境の創造を京都から進めます。

★こんな取組を進めていきます

■起業するなら京都・プロジェクト

創業支援から販路開拓までのトータルサポート等を実施

■環境イノベーション創出プロジェクト

IoTの利用によるエネルギー需給の最適化や、新たなビジネスの育成

■オール京都「高度人材育成プログラム」

中小企業大学校と連携し、高度人材を育成

■MaaS・α促進プロジェクト

持続可能な地域交通を確立するとともに、新たなビジネスを創出

■スマートアグリ・イノベーションセンター(仮称)

企業・大学等と連携し、スマート技術の現場展開を支援

■ビッグデータ活用・京都観光交流圏周遊プロジェクト

ビッグデータを活用した観光客の府全域への分散・周遊等を促進

★皆さまとともに進めていきます

●異業種交流、産学公連携等を通じた商品開発や人づくり

●農商工連携や6次産業化への取組

●DMOと連携した観光マーケティングや、地域資源を生かした商品づくりなど、広域観光の取組



「災害・犯罪等からの安心・安全」 きょうとチャレンジ



災害や犯罪等から府民の命と財産を守るため、AI等の活用によりハード・ソフト一体となった最先端の危機管理・安心安全体制を構築します。

★こんな取組を進めていきます

■危機管理センター設置等、防災対応力強化

危機管理センター設置によるオペレーションルームの常設化、洪水氾濫状況等のリアルタイム配信など、最先端の危機管理体制の構築

■逃げ遅れゼロ・プロジェクト

「避難時声かけ体制」の確保と災害危険情報のプッシュ配信

■AI活用「犯罪防御システム」

AI等を活用した情報分析機能強化による犯罪抑止対策の推進

■防災基盤の整備

桂川、由良川等の河川改修や、大野ダムなどの洪水調節機能の最大化

■子どもの交通安全「安心空間」確保プロジェクト

子どもが安心して通行できる交通環境の整備や、安全運転サポート車などの技術開発・普及を推進

★皆さまとともに進めていきます

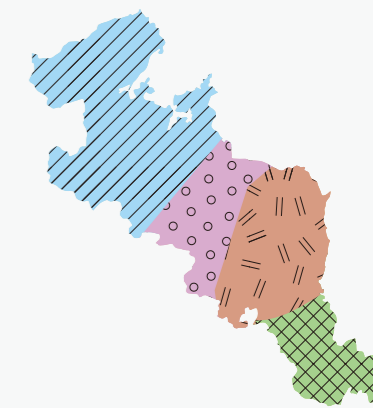
●大規模広域災害時における企業のBCP(事業継続計画)の策定

●若手・女性など消防団への加入、ふるさとレスキュー等への参加

●府民協働防犯ステーションを核とした防犯ボランティア活動への参加

●思いやりのある運転の心がけ

エリア構想



主なハード整備を中心に、整備施設の特徴・効果を生かすソフト施策を推進し、地域振興計画等との連動により、地域の個性ある魅力づくりや更なる成長・発展につなげる5つの構想を示しています。

北部グローバル構想

- ・京都舞鶴港の整備促進
- ・丹後織物の拠点[TANGO OPEN CENTER(仮称)]整備
- ・ヘリ&クルーズ等観光の推進
- ・「大学×ものづくり」によるイノベーション など

京都スタジアムを中核とする スポーツ&ウェルネス構想

- ・VR、AR等の技術を用いたスポーツ環境、観戦環境の提供
- ・トップアスリートの育成とスポーツのメッカづくり
- ・オーベルジュ、農家民宿など体験型周遊観光等の推進
- ・医療産業等と連携した京野菜等を活用した商品・サービスの開発 など

北山「文化と憩い」の交流構想

- ・シアターコンプレックス構想
- ・アリーナの整備検討
- ・京都府立植物園100周年未来構想
- ・文化庁との連携による地域文化の振興 など

新名神を活かす「高次人流・物流」構想

- ・アウトレットモールの誘致
- ・次世代型物流拠点の誘致
- ・宇治木津線(国道24号城陽井手木津川バイパス)整備促進
- ・JR奈良線高速化・第二期複線化整備促進
- ・西山天王山駅ターミナル機能強化 など

スマートけいはんな広域連携構想

- ・AIやIoT、ロボット技術を活用した新交通システムの構築
- ・クローン文化財の展示・作製拠点の整備
- ・相楽東部地区へのサテライトオフィスなどの立地促進 など

地域振興計画

丹後地域振興計画

宮津市、京丹后市、
伊根町、与謝野町



概ね20年後に実現したい
丹後地域の将来像

安心して「元気」に住み続けることができ、希望が
持て夢が実現できる丹後地域

概ね4年間の対応方向

- 災害に強く安心して元気に「住み続けることができ
る安心・安全な地域づくり」
- 観光産業の振興を入口に地域産業全体の更なる
発展に取り組む「稼ぐ力の強化による産業振興」
- 一人ひとりがそれぞれの力を発揮しながら稼ぐ力
の源泉となる「地域を支える人材の確保・育成」

中丹地域振興計画

福知山市、舞鶴市、綾部市



概ね20年後に実現したい
中丹地域の将来像

心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を享受
し、海・里山・まちを舞台に求める暮らしが実現で
きる地域を

概ね4年間の対応方向

- 「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続
可能な地域づくり
- 「もうひとつの京都」の推進による交流の拡大と
関係人口の創出
- 国土強靱化の推進による災害に強い地域づくり

南丹地域振興計画

亀岡市、南丹市、京丹波町



概ね20年後に実現したい
南丹地域の将来像

来てよし・観てよし・住んでよし。交流人口・関係人
口1,000万人超の賑わいと活気のある京都丹波

概ね4年間の対応方向

- 京都丹波の地域資源を生かした交流・活力のまちづくり
- 人権が尊重され、希望を持って元気に暮らせる
地域づくり
- 明日の京都丹波産業を担う人づくり
- オール京都丹波による移住・定住プロジェクトの推進
- 交流と安心・安全の基盤づくり

山城地域振興計画

宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、
八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、
久御山町、井手町、宇治田原町、
笠置町、和束町、精華町、南山城村



概ね20年後に実現したい
山城地域の将来像

個性豊かなそれぞれのエリアが魅力を輝かせ、つな
がり、更に発展する山城地域

概ね4年間の対応方向

- 新名神の全線開通を見据え、それぞれのエリア
特性に応じた地域づくりの推進
- 暮らしを支え、災害に強い持続可能な安心・安全の基盤づくり
- 子育てや長寿の安心を確保し、人権が尊重され、
誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現
- やましろ産業を地域の未来を支える柱へとパワーアップ

お問合せ先 京都市政策企画部計画推進課 〒602-8570京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL 075-414-4351 FAX 075-414-4389 MAIL keikaku@pref.kyoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shinsougoukeikaku/index.html>

(令和元年 10月発行)